

初級～中級者向け知的財産講座基本プログラム

(注：プログラム、時間割は予告なく変更される場合があります)

	大項目	個別項目
午前	① 知財権利化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業における知財とは？ ・ 製品には多くの知財権が関わる（スマホの例） ・ 知財面での誤解 ・ 知財等に関する法律：日本、海外 ・ 知財権侵害の事例：特許権、商標権、著作権 ・ 知財の価値と役割（技術的価値） ・ バリュードライバー（自社の強みをどう捉えるか？） ・ 知財権利化の 3P（Protection, Promotion, Profit） ・ 海外進出に際する知財権の出願、登録 ・ どの国で、どのように権利化するか ・ 特許：海外出願、権利化の流れ 権利化と維持に要する費用 権利化に際する注意点 特許の活用：攻めと守り、分析 ・ 商標：海外出願、権利化の流れ 権利化と維持に要する費用 権利化に際する注意点 商標の活用：ブランド、模倣品対策 ・ 意匠：デザインに関する問題 権利化に際する注意点 ・ 著作権とその周辺権 ・ 知財による多重保護、権利の束と選択 ・ 職務発明／創作と報償制度
		休憩 15 分
	② 海外進出全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外進出と知財リスク <ul style="list-style-type: none"> ・ デューディリジェンス ・ 知財リスクと対策の見える化 ・ 知財リスクと対策の継続的取り組み ・ 知財等に関する法律：米国、中国、アセアン等 ・ 海外企業との商談会に際する注意点 ・ 海外の展示会出展に際する注意点 ・ JAPAN ブランド ・ 米国：動向と知財環境 知財権利化の動向 特許権利化に際する注意点 商標権利化に際する注意点 ・ 中国：動向と知財環境 知財権利化の動向 特許権利化に際する注意点 商標権利化に際する注意点 ・ アセアン諸国：動向と知財環境 ・ 先進国での特許＆商標の権利化の特徴 ・ 中進国での特許＆商標の権利化の特徴 ・ 新興国での特許＆商標の権利化の特徴 ・ 法の運用と執行に関する国別評価 ・ 知財権の運用と執行に関する国別評価
		質疑応答 15 分

	大項目	個別項目
午後	③ 契約	<ul style="list-style-type: none"> • 契約とは？ • 国内契約と国際契約の違い • 相手を知らずんば • 契約に関する不適切な事例 • ビジネスモデルの選択肢の検討 • ビジネスモデルの見える化 • 様々な契約 • 秘密保持契約： <ul style="list-style-type: none"> • 秘密保持契約の構成 • 契約期間と秘密保持期間 • 片務と双務 • 秘密保持契約下での情報の授受 • 共同開発契約： <ul style="list-style-type: none"> • 共同開発契約の構成 • 開発成果に関する注意点 • 既存技術と開発成果 • 技術のコンタミネーション • 日本の大学との協業に際する注意点（不実施補償） • 取引基本契約： <ul style="list-style-type: none"> • 取引基本契約の構成 • 取引基本契約と他の契約との関係 • 基本取引契約の知財関連条項 • 取引基本契約に関する注意点 • 取引基本契約のリスク管理（自社の受諾基準の設定）
		休憩 15 分
	④ 技術流出防止	<ul style="list-style-type: none"> • 技術開発と技術流出 • 技術流出の事例 • 進出形態と技術流出リスク • 何を流出から守るのか？ • 法的保護を受けるための要件 • 秘密情報管理 • 情報の秘密区分 • 情報の層別：見せない、出さない、教えない（三無主義） • 秘密管理規定 • 技術流出防止指針 • 日本人は脇が甘い • 人による技術流出 • 契約せずして、技術情報の開示なし • 重要な契約条件 • 契約による技術流出リスク：契約、外注、合併事業による • 技術のコンタミネーション • 技術移転に関する法令 • 技術流出防止の事例：社内教育、工場見学、情報システム管理
	⑤ その他	<ul style="list-style-type: none"> • INPIT について • 海外知財プロデューサーとは？ • 海外知財プロデューサーによる個別支援 • 支援実績の紹介
	質疑応答 15 分	